

武蔵村山市立小中一貫校村山学園のホームページへようこそ

はじめに

武蔵村山市立小中一貫校村山学園は、平成22年4月に、多摩地区初の施設一体型小中一貫校として開校しました。その前進は、50年余りの歴史がある第四小学校と第二中学校です。武蔵村山市では、学校教育の一層の充実と発展を推進するため、「人間力の育成」を目指した9年間の系統的・継続的指導及び小・中学校の円滑な接続の在り方等の実践的な研究が行われました。その成果を普及・啓発していく役割を担うべく、村山学園は開校した歴史があります。令和2年度に創立10周年を迎え、令和3年1月30日には記念式典を行いました。

現在は、本市における小中連携教育の推進の発信校として、小・中学部の組織を合わせたことで生じる困難な課題を解決しながら、新たな「小中一貫校文化」を創り出し、児童・生徒の「人間力の育成」の達成に向けた取組を推進しています。また、豊かな感性と知性を育み、心身ともにたくましく、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けた児童・生徒を育成するため、ICT教育をはじめ、キャリア教育の推進、特別支援教育など、様々な教育活動に取り組んでいます。

これまでの良き伝統と教育実践を継承し、現在の児童・生徒や地域の実態を踏まえ、社会の要請に基づき、地域の児童・生徒の健全育成に努力を続けています。

<教育目標>

9年間の義務教育における系統的・継続的な学びを通して、我が国の主権者として必要な豊かな感性と知性をはぐくみ、心身ともにたくましく、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けた児童・生徒を育成する。

「人にやさしく、自分に強く、英知を磨く村山の子」

<目指す特色ある学校像>

施設一体型の小中一貫校の特色を生かし、多くの人とのかかわりの中で様々なコミュニケーションの場を通じて自立した一人の人間としての「人間力」を育成する学校を目指す。

- (1) 義務教育9年間で系統的・継続的な指導を通して「人間力」の育成を図る学校
- (2) 施設一体型の特色を生かし「理想とする中学校卒業時の生徒像」の具現化に向け小・中学校教員の「指導観の一貫」を目指す学校
- (3) 地域・家庭との協働により、コミュニティ・スクールとして信頼される学校

施設完全一体型小中一貫校の特色を生かし、多くの人とのかかわりの中で様々なコミュニケーションの場を通じて人間力を育成する学校を目指す。

人間力＝「人間として力強く生きていく総合的な力」

「知的能力」「対人関係力」「自己制御力」の3つの力がバランスを取り合いながら 高め合い一体となって稼動する総合力

<目指す児童・生徒像>

- (1) 自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子
- (2) 自分で考えることができる子
- (3) 自分で判断することができる子

村山学園では、保護者や地域の皆様との信頼関係の上に、児童・生徒の安全・安心を最優先に、子供たちが毎日、明るく元気に笑顔で登校できる学校づくりをします。職員一丸となって、教育目標の達成に向けて努力を続けます。

<校長 自己紹介>

令和３年４月１日着任

武蔵村山市立小中一貫校村山学園(第四小学校 第二中学校)

統括校長 井内 潔 (いうち きよし)